

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

「2024年2月実施」

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用者の人数に合わせて活動場所を工夫しているが、ここ数年利用者増に伴い手狭感があるので、新しい物件も検討している。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		利用者が多い時には業務に支障が無いよう職員の配置には留意しているが利用者が多い時にはスタッフ不足を感じる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		施設の構造上万全でない所もあるので、職員の配置場所を考えて必要な人数を配置している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			目標と振り返りを十分に行うために全員参加の会議を週1回行い深めている、又、研修への参加も積極的に行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			送りの時などに保護者との連絡を密にして、保護者の要望を取り入れ、日頃の業務の改善に取り入れている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ等で公開してご意見を頂き参考にして、また「おやじの会」を開催し父親の考えを伺っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			定期総会や「おやじの会」当を実施して、意見を伺い、業務の改善に取り組んでいる。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			自発的な希望研修にも、全員参加を原則に。勤務時間を振り分け研鑽に努め、研修内容をスタッフ全員に還元している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に保護者との面接を開催し、ニーズや課題を把握して指導計画にいかしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			問題行動の前段階の行動を把握するために個人指導ノート等を活用して背景を見逃さないようにしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			保護者との面談を参考に原案は自発管が作成しているが、保護者に渡す前にスタッフ全員で内容を検討して。

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			見直しを常に行い、プログラムがマンネリ化しないよう留意している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇等については課題作成担当を定め、全員で協議し、固定化しないように心掛けている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全体活動が不得手な児童に対しては個別活動で対応しているが、どのような方法ならば集団活動に参加できるか？個別に検討して実施している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前の打ち合わせと留意点等について毎日の活動前に打ち合わせ確認を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後に全員での打ち合わせ等は送り時間の関係で十分できないので、「伝言メモ」等を作成する時間を確保して、それを翌日までには全員が目を通すようにしている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援記録を作成し、毎日目を通すだけでなく毎週月曜日の打ち合わせ等で検証・改善につとめている。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングは実践の中で常に行い、6ヶ月毎に見直しを行い面談も実施して改善している。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			スタッフ間の支援の質の向上だけでなく社会との交流及び保護者の抱えている悩みにも配慮するようアンテナを張り巡らしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			該当児童に深く関わった職員を参画させているとともに、多少不得手なスタッフも参加させ研修を深めている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			在籍校へケース会議の申し入れを積極的に行い、情報の把握に努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医が遠くにいる為他事業所・学校・保護者から状況を把握して課題の共有に努めるとともに、参考医療機関の紹介にも努めている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			当事業所へに入所希望がある児童については、課題や問題点を確認し、保育園・幼稚園等から情報を積極的に得ている。

や 保 護 者 と の 連 携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			該当する利用者はまだ少ないが、該当する生徒に対しては、施設の見学等を行い、適性を判断して相互の連携を密にしている。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		児童発達支援センターとは連携が十分とは言えないので、今後は更に連携を深めていきたい。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			通常の利用や。イベントの時の利用にも、相互に参加を促し、企画し、。交流を深めている。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会等には、積極的に参加している。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎日の連絡帳を活用して、子供たちの良い所等を保護者に伝え、共通理解を図っている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			日頃の連携に重点を置き、相談があった場合などは、真剣な対応をして、適切なアドバイスを心がけている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			入所前に事業所として。理解を頂かなければならない内容については、しっかり説明している。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			視線を同じにして、親身になって相談にあたるとともに適切なアドバイスが絵できるよう研鑽してえる。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		「おやじの会」を開催したり、行事の連絡をしたりして連携をとっている。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			日常特に苦情は無いが、情報の収集に最善を尽くすとともにあった場合に備え、窓口を一本化して、迅速丁寧な対応を心掛けている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のイベント情報を発信する中で、子供たちの日常をお知らせしたり、SNSを使って情報を発信している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			資料の管理は当然として、施設外での子供たちに関わる会話には十分留意するようスタッフに指導している。又退職時には、誓約書をかくなど、心掛けている。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者の抱えている課題には常に注意して、孤立させないよう職員間でも共通理解を図っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			演奏会や絵本の読み聞かせ等で地域の方々に出演していただいたり、野菜等の先生として、指導を受けたりしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			それぞれにマニュアルを作成して共通理解を図っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員の役割と動き方について研修をするとともに、消防署等と連携して、訓練等も行うとともに、送迎の安全についても、研修をおこなっている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の委員会を立ち上げるとともに、分担して研修会に参加するなどして、社内研修を深めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在該当する児童はいないが、有った場合には、事前に保護者との連携を深めて話し合い了解を得たうえで、対応していきたい。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			施設利用の打ち合わせの時、アレルギーについて保護者から情報を得るとともに、手作りおやつ等についてもアレルギーの有無を確認している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			子供たちの日々の出来事を個人ノートに記載して職員間で共有するとともに、危険箇所についても情報の共通を行っている。